

田和山へ森から

第 253 号
令和 7 年 11 月 7 日
里山を育てる会

10 月の作業から

展望台から眺める朝日山



展望台からの眺めを更によくするために、障害になっていたタブとスダジイの

枝を整理しました。宍道湖の湖面はもとより、朝日山(神名火山の一つ)もくっきり見えるようになりました。(251 号で、田和山の最高点を 46 m と紹介しましたが 49 m に訂正します)

本程度) にすることです。1 日では出来ずに、途中ですが終わったところは日差しが届くようになりました。

シイタケ原木を桧場へ

一昨年の秋に伐採し、昨年の春に植菌したシイタケ原木を桧場(シイタケを発生させる場所)へ移動しました。2 年経過していますが、まだかなりの重さがあり、林内作業車を用いて行いました。ギリギリの道幅のところを縫うように運び込み並べました。(写真



上が運搬中で下が並べ終わったところ)

モウソウチク林の本数調整

モウソウチク林内の整理を始めました。整理の目標は、成立本数を適正配置 1000 m² 当たり 200 ~ 300



11 月の予定

主たる作業

- ・竹林の整備
- ・シイタケ原木の伐採
- ・西側斜面林床整理

田和山の樹木 第 65 回 コウゾ



田和山の樹木を紹介していますが、残りは低木が中心になります。今回はコウゾです。コウゾは和紙の原料としてミツマタと並んで使われています。そのため、名前だけはよく知られていますが、実物を特定することはなかなかありません。

コウゾはクワ科の低木の樹木で、高さは最大で 6 m ぐらいにしかありません。

紙の原料として用いられるコウゾは、桑の栽培と同じように、萌芽枝の中から通直の枝を数本残し、1 年目の冬に切り取り皮を剥ぎ繊維を使用します。しかし、現在そのような栽培をしている和紙の生産地は少ないといわれています。栽培されていたものが野生化して、明るい谷間を中心に多く分布していますが、見過ごしてしまうことが多い樹木です。繁殖力は旺盛で、根茎があればあちこちで芽を出します。

田和山のコウゾは、平成 30 年の春に浜田市三隅町の生産者から譲り受けて植栽したものです。

副会長の荒川益男さんが長年の保護司としての活動で、藍綬褒章を受章されました。おめでとうございます。

今後の活動予定 11 月 7 日(金)、11 月 15 日(土)、11 月 21 日(金)、11 月 28 日(金)、12 月 5 日(金)、12 月 12 日(金)、12 月 20 日(土)が年内最終です。時間は 13:30 から、ただし土曜日は 9:00 からとなります。令和 8 年 1 月 9 日(金)に作業を行い新年会を計画します。